婦人衛生雜誌

大正十一年六月二十五日發行

第三百六十五號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌

第三百六十五號目次

講演

○世界の變動と婦人の覺醒　法學博士　添田壽一

叢談

○化粧と衣裳　高峯博
○近眼の話　莊司秋次郎

育兒

○離乳後子供に與へる食物　竹野芳次郎
○小兒結核の豫防　ツェルニー

家庭衛生

○臺所の改造
○日本服の改良意見
○着物の始末
○鷄卵貯藏法
○家庭瑣事

雜報

○赤十字產院
○少年赤十字
○常設林間學校
○學校看護婦
○結核豫防宣傳標語
○生活改善食事研究
○女子水泳講習會

會報

○本會例會　○入會及轉居

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第三百六十五號
（大正十一年六月二十五日發行）

世界の變動と婦人の自覺

法學博士　添田壽一

一、大戰後の世界的變動

婦人の自覺と申しますと大變難しいことでありますが、成べく皆さんに分り易く、極く平たく申上げたいと思ふ。中にはそんな下らぬことはどうでも宜いと云ふ思召の方もあるかも知れませぬが今日はお若い方が多數でございますから、多數の爲に豪いお方は少し我慢をして戴くことが必要と思ふ、旅は道連れ世は情けと云ふこともございますから、斯う云ふ場合には所謂多數の人の爲に我慢を願ひたいのであります。

偖て今日世界の有樣がどうなつて居るかと云ふことから御話をしなければ自覺すると云ふことが起つて來ない。自分のことばかり考へて居れば朝から居睡をして居つても宜い。詰り寒い時には牀の中へ入つて寢て居るのが一番樂でございますけれども、それでは自分だけの滿足であつて時々刻々動いて居る世の中と無關係でありまして、むづかしい言葉で申しますれば沒交渉である。それで暮せれば宜しうございますけれどもさうはいかない。御互が苟も世界の中に住んで居る以上は世界のことを知つて居なければならぬ。呑氣に居睡ばかりして居ると何時頭の上に爆彈が落ちて來るかも知れない。どう云ふ譯でさう云ふ威し文句を申上げるかと云ふと世界の變化から來るのである。日本が今居睡ばかりして居つてはいかぬと云ふ御話をするには所謂世界の御話をしなければなりませぬ。世界のことなどはどうでも

宜いと云ふ人が多いから日本は何時も世界から除け者にせられ、馬鹿にせらるゝ。目下ゼノワ會議と云ふものが開かれ居るが、此の會議に於ても日本は餘り威張れない。何故威張れないかと云ふと、國民が皆居睡をして居るからである。皆さんは目を醒して居ると仰しやるかも知れぬが、眼を明いて居つても何も目に映じないならば矢張り睡つて居つても同じことである。詰り國民が居睡をして居たり呑氣で居るから、日本の國民が振はない。——巴里、ワシントンと世界の會議に日本の代表が出て居る。其代表が居睡をしては居りませぬが、國民が冷淡であるが爲めに日本といふ國は餘り重せられない、宜い加減に取扱はれて居る。之を直すにはどうしても國民がもう少し目を醒さなければならぬ。

それで甚だむづかしく說けば却て分り惡うございますから極く分り易いやうに御話をしますと、お互はたつた一人で世の中に居るのではない。お互人類はまあ下宿して居らしつてもお友達がある。家のあるお方は兩親や兄弟があつて、人間は一人で生息するものではありませぬ。即ち之をむづかしい言葉では人間は社會的動物と申すのである。そこで多勢住んで居ります以上はこゝに競爭と云ふことが起る。互に自分が旨く生活しやうと云ふので所謂競爭が始まる。そこで人間と人間との間に色々競爭が起るのみでなく、人間の固まりである所の家と家との間にも競爭がある。例へば學校に於ては學校と學校との間に競爭があり、學校の中でも彼の級と此の級と競爭があると云ふ譯で、人間は互に競爭の間に立つと云ふことは免れない。尙ほ大きく申しますと國と國との競爭がありまして、詰り人間は競爭の外に立つと云ふことは出來ない。或は山の中に引込むとか離島へでも行けばイザ知らず到底競爭より免かるゝことは出來ない。そこで此競爭の目的は完全に生活して行かうと云ふに在る。皆さんが今學校で勉強して居らつしやるのも將來は立派なお方にお成りになつて自分一身を立てるばかりでなく父母を養ひ家を起

し完全なる生活をしたい爲めである。或は金持や華族さんは生存競爭の必要はなく、親讓りの財産で寢て居つて宜さゝうであるが、注意を怠れば番頭や家從に胡麻化されて仕舞ふ。金持や華族でもまるで無一物になつて仕舞ふ實例が澤山ある。全く生存競爭に備ふべき努力と知識がなかつた爲である、生存競爭の上に於ても成るべく他の國の人民よりは、日本なら日本の國民を樂に暮させたいと云ふのが卽ち政治の目的である。之が卽ち政治の根本である。良く暮させると云ふことは唯遊んで居睡ばかりして居ると云ふのではなく、人類として爲すべきことを完全に盡さしむるに在る。獨り美味しい物を食べて、奇麗な著物を著て、立派な家に住ふばかりでなく、其精神もそれに相當して立派に發達を爲すと云ふことが卽ち完全なる生活である。唯衣食住を立派にしたからと云ふて、これで人生の目的を遂したとは云へない。有形の完備のみならず、所謂人間の人間たる道を履んで各〻その本分を盡すと云ふ無形の問題卽ち精神的問題も共に完全して行かなければならぬのである。衣食住のみならず精神的修養、卽ち有形無形に向上發達する爲にはどうしても生計程度が高くならなければならぬ。暮しが困難では何事も出來ませぬから、生活の安定、卽ち生計の程度を引上ぐる必要が生ずる。他の國の國民より自分の國の國民に成るべく立派なる生活をさせたいと云ふことに骨を折りますのが先進國の一生懸命に努めて居る所である。それに成功致しましたのは先づ英吉利でありまして、英吉利が、むづかしい言葉で申しますと、經濟的帝國主義を實行して、第一に成功したのである。或は植民地を開き、或は貿易を擴め航海を進め、世界到る所に領分を得たのは御承知の通りである。斯く一大成功を遂げたる英吉利に續いて起つたのが獨逸である。四五十年前より獨逸は英吉利と同一の政策を實行して世界の到る處に植民地を開き商貿を行ひ航海を進め卽ち經濟的帝國主義に成功したのである。そこでこの二つの國がどうも兩立し難きこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

となり互に競爭を始めまして、英吉利の方では獨逸を倒したい、獨逸の方では英吉利を倒したいと云ふ工合に狙ひ合つて居つた。遂に彼のサラエボといふ所で墺太利の皇太子がセルビヤ青年の爲めに暗殺せられたるを導火線として、歐羅巴の大戰爭となり英獨の爭覇と云ふ大變な戰爭になつたのである。それが五年ばかりも續き人間の死んだのが一千萬人、怪我をしたのが二千萬人、合せて三千萬人に達した。又金は幾ら使つたかと云ふと直接の軍費が五千億圓、間接の分が七千億圓、合せて一萬二千億圓である。是は詰り分つて居るだけの金高でありまして、例へば家を毀されたとか何とか色々のものを勘定したら幾らか分りませぬ。斯くまでの大損害を與へた以上は此戰爭が世界に大變な騷動を惹起したのは當然である。今日未だにまだ不景氣だとか何とか言つて居るのは、戰爭のお陰である。結局獨逸と墺地利と勃牙利、土耳其と云ふ側が敗けまして、聯合軍側即ち英吉利、佛蘭西、露西亞、伊太利、支那、日本、亞米利加などが勝つたのでありますが、此戰爭が長く續いて澤山の金が掛りましたために兩方共非常に弱つて仕舞つた。唯弱らないのは遠くに居りまして歐羅巴に品物を送りました亞米利加と日本とである。就中歐羅巴の國々では半病人のやうなのもあれば、大病人でウン〳〵唸つて居るのが澤山ある。之が今日大戰後の世界の有樣である。世界大戰爭の結果と致しまして一番旨いことを致しましたのは亞米利加である。北米合衆國も成程金を貸したり幾らか兵を出したけれども、兎に角此戰爭即ち火事の本場から遠いものでありますから、歐羅巴各國に比べると甚だ有利なる地位に居る。此戰爭の間歐羅巴の國々は喧嘩に追はれて、品物を造る餘裕がないから亞米利加から彈丸を貰ふ食物を貰ふと云ふことで歐羅巴に盛んに賣込んで亞米利加は澤山の金を儲けて世界第一の金持になつて仕舞つた。日本も歐羅巴に向つて亞米利加が商賣して居る間に世界の他の方面に商賣するやうになつて多少儲けて小成金になつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た。之が即ち世界戰後の大體であります。

二、ワシントン會議とゼノア會議

そこで其結果どう云ふことが起つたかと言へば、大金を持つて居る者が――お互個人間でもさうでございますが、一番威張り勢力を振ふ事になつた。戰爭の後に於ては北米合衆國が非常なる勢ひを有するやうになり、詰り亞米利加にはどの國も頭が上らないやうになつて仕舞つた。英國でも亞米利加から賣つて貰はなければ品物が不足する。買ふにも拂ふ金がないから借金となり、借金が殖えるばかりでありますからどうしても亞米利加に頭が上らない。佛蘭西と致しましても同じことで、その他の歐羅巴各國も亞米利加に頭の上がるものは一つもないと申上げて宜しい。そこで亞米利加の獨舞臺となつた。私も見物に參りましたが、大正八年巴里の會議に於きましてもウイルソン大統領の仰しやることは何でも通ると云ふ有樣であつた。此度の戰爭と云ふものは獨逸と英吉利が喧嘩をして弱くなり、亞米利加と云ふ新しき一大强國がひよつこり出來ましたと謂つて宜しい。そこで亞米利加から申しますれば歐羅巴は皆病人やら怪我人で何にも怖いことはない、其他の國は論ずるに足らぬ。茲に一つ邪魔になるのは日本である。蓋し亞米利加が此戰爭の爲に出來るだけ製造場を殖やし品物を澤山歐羅巴に送ります爲に非常に工業を發達させた。所が戰爭が濟んだからと云ふて直ぐ縮めると云ふことは甚だ困難であるから、今まで兵器彈藥を造つたものを變へて今度は商賣品を造ると云ふ事に改めた。然るに歐羅巴には中々品物を買ふだけの力はないから之を何處かへ持つて行かなければならぬと思つて世界を見渡すと支那と西伯利と云ふのが一番良いお顧客樣である。そこで支那へ品物を賣込みますには太平洋の制海權を自分の手に入れなければならぬ、それには日英同盟と云ふものがあつて、日英兩國がいざと云ふと一緒になつて働いては甚だ面倒だから日英同盟を何とか始末をしたいと云ふことが起る。是れ遂に太平洋極東と云ふ二

つの問題の爲にワシントン會議が開かるゝに至つた所以である。今一つの理由は此戰爭は熄みましたけれども陸海軍は減少せぬから來る。何故減さぬかと云ふと、中々むづかしくなりますけれども、亞米利加がヴェルサイユ條約を批准しないと云ふ事に胚胎する。實は巴里の會議で今後喧嘩をしない爲めに國際聯盟と云ふ火消し機關とも見るべきものを作つた。之は亞米利加大統領のウイルソンさんが唱へられて出來たけれども亞米利加の元老院がその條約を批准即ち承知しない爲に國際聯盟も殆ど氣の拔けた「ビール」見たやうになつて仕舞つた。そこで世界が戰爭の再び起ることを心配して、まだ危險だ何時何處から火事が起るか泥棒が這入るか知れぬとて陸海軍の擴張を始めその費用の爲めに税を課する。各國人民が負擔の重きに堪へずして唸り出す。北米合衆國の如く成金となり、非常に儲けた國民と雖もどし〳〵税を取られて苦痛を訴ふるに至つた。斯くして極東問題と太平洋問題とに軍備制限を結付けて、何とかして軍事費即ち火消人足の費用を少しでも減すことにしやうと云ふ爲に開かれたのが華盛頓會議であります。

華盛頓會議を昨年の十一月十一日を以て開くと云ふので私は見物に參りました。何故見物に行つたかと申しますれば、國民警告の材料仕入れの爲めである。一體日本の國民は他國民に比べてどうも自覺が足らぬ、是では迚も他の國と競爭が出來ませぬ。私が日本國内で方々に行つて話をしたり、拙づい文章で論じて見ても、どうも一向手應へがありませぬから、外國へ行つて材料を仕入れて參つたならば幾らか聽いて下さり見ても下さるだらうと云ふので巴里會議にも行き更に華盛頓會議にも行つた。今や華盛頓會議のことを述べて大に自覺して戴きたいと栞りに努めて居る所であります。詰り華盛頓會議と云ふものは亞米利加が支那を大切と思ひ、太平洋に於ける通り道を日英同盟を楯として英吉利と日本の艦隊に妨害されないやうにしたいと思ひ、隨つて日英同

盟を廢めて貰い、それから戰爭の爲に火消人足の費用、所謂軍事費と云ふ陸海軍の費用を減少したいと云ふ三つの希望を以て華盛頓に開かれたものである。昨年十一月十二日が第一回本會議でありまして、此時は海軍の比率問題が亞米利加の國務卿のヒューズと云ふ人から提出されました。亞米利加、英吉利、日本申合せて五、五、三と云ふ比率を定めた。五、五、三と云ふのは、英吉利が例へば五十萬噸なら亞米利加も五十萬噸、其場合に於て日本は三十萬噸で我慢をしろと云ふのである。十一月十五日の第二本會議に於て此の比例を日本より少し增して貰いたいと云ふ話を持掛けて、すつたもんだ致しましたが矢張り前申上げた通り日本の泣寢入りにて漸く纏まつた。國民の聲と列國會議と非常に關係のあると云ふ一例として申上げますのは、佛蘭西の例である。此華盛頓會議は前に申します通りに陸海軍を減すと云ふので開かれたのでありますが、佛蘭西國民がどうしても陸軍を減すと云ふことは承知しない。佛蘭西の總理大臣ブリアンと云ふ人が華盛頓に於きまして、どうしても陸軍を減す譯にいかぬ、獨逸がまだ兵を十分に持つて居る以上は何時再び合戰をするか知れぬ、中々減す譯にいかぬと云ふので威張りに威張つた。佛蘭西の國民が盛んに尻押を致しましたからブリアン氏が十一月二十二日の第三本會議で一生懸命になつて國民の輿論なりと威張つたから到頭其主張が通つて華盛頓會議から陸軍は拔きにされて仕舞つた。此位國民の聲と云ふものは此會議に於て尊重されたのである。日本の全權は日本國民が一定せる大きな聲で要求をする譯でないから大體他の國の言ふことを肯いて居ると云ふやうな次第で、呑氣は呑氣でございましたけれども甚だ見つともない上に損である。十二月十日の第四本會議に於て太平洋四國協約と云ふのが提出された。其要旨は佛蘭西、英吉利、日本、亞米利加の四國の協力に依て太平洋で戰爭をしない樣にしやうと云ふのである。四國協約の成立と共に日英同盟と云ふものが廢止になつた。亞

米利加の思ふ通りに其問題も解決された。今一の支那問題も、支那の滿足する通りに決定した。これに就き亞米利加が骨を折つたと云ふので支那が大變亞米利加を有難がりまして、詰り支那問題もすつかり亞米利加の思ふ通りに極りました。卽ち海軍は半分位になり、日英同盟は廢止となり、それから支那に向つて十分亞米利加が有難味を感せしむるやうになつた。華盛頓會議が本年の二月一日の第五本會議で大體を決定し二月六日の第六本會議を以て漸く幕が下りた。大戰爭の爲に世界の經濟が滅茶々々になつたのは既に述べた如くであつて歐羅巴にはまだ人民が食ふことも出來ないやうな困つた狀態にある國が澤山あります。歐羅巴が十分に恢復せねば、世界全體の景氣恢復も望めない。今日日本の不景氣も幾分か歐羅巴疲弊のお蔭である。故に他國の事はどうでも宜いと言はれた義理ではなく、我國にも大に關係がある。そこでどうしても歐羅巴の疲弊を何とか始末をしなければならぬと云ふので華盛頓會議で暇があつたら考を持出したいと云ふ向もありましたが、他に色々な議論が起りこれを相談する暇がありませぬために、遂にそれならば別の會議を開かうと云ふのでゼノアと云ふ所に會議を開催中であります。所が此會議には獨逸と露西亞とを入れなければならぬ、今までは敵でありましたけれども今後は皆一緒になつてやらうと云ふので獨逸、露西亞を參加せしめて色々評議を致して見ましたが、是亦經濟問題よりも政治問題外交問題に沒頭する傾があつて、經濟問題を十分片付けることが出來ないやうである。ソコで今後更に經濟會議と云ふものを倫敦邊に開いて、世界の經濟をどうしたら宜いかと云ふことを相談することになつたやうであるが、列國利害の不一致はゼノア會議の前途を不安ならしめてゐる。

三、日本國民自覺の必要

全世界が戰爭の被害から全快致しませぬ以上は、世界のどの國も多少其影響を受くる。日本でも物價の高いのに苦んで居るが一體世界の品物は戰爭で以

て少なくなりましたから詰り各國とも品物が高い。
日本限りの卽ち地方的の原因も働いて居るけれど
も、世界共通の原因は歐羅巴大戰爭の爲めに世界全
體に品物の不足、通貨の膨脹を來したるに存する。日
本が此戰爭で成金になつて國民も奢り、消費に耽り
その爲めに物價が高くなる。又種々の稅を澤山出さ
せたり、鐵道の運賃を上げて見たりして生産費が嵩
み、その上に遊んで懶けるから生産高の減少を來す
等種々の原因が集まつて物價を高くする。殊に通貨
が膨脹し金錢の値打が下り、その爲めに日本が世界
と他の國に比して物價が一番高いのである。今度亞
米利加に參りましたが、驚きましたのは洋服の立派
なのでも出來合ひなら三十圓出せば脊廣が買へる、
日本では百圓出しても得られない。日本の職工は懶
けて三日位働けば休んで芝居であるとか活動寫眞
とか寄席であるとかに行く。世の中が不景氣である
と云ふに拘らず芝居だとか活動とかは賑かである。
要するに日本では懶けて遊んで物を造らずに消費の

み進む故に物價が高いのみならず、作る品物が惡い
から段々輸出が減少するのみか輸入が増加する。現
に店頭に在る品物でも日本の品物は高くて惡い、外
國から來た品物は廉くて良いから皆外國品を買ふの
は當然である。卽ち輸出が減つて輸入が殖えるから
卽ち輸入超過と云ふ結果を生ずる。一昨年は四億圓、
昨年は三億八千萬圓、今年は此四ヶ月で三億圓以上
の輸入超過となつた。正貨準備が二十億以上になつ
たと威張つて居る間に段々なくなつて仕舞ふ。若し
此分で行きますと遠からず今まで儲けた金は無くな
るのみならず是からは日本が借金が殖えると云ふこ
とになる。東よりは北米合衆國が華盛頓會議に於て
支那に商賣をしたいが爲に日英同盟までも廢めさせ
て押掛けてやつて來る、又歐羅巴各國が段々恢復し
て來ると他に行く所がありませぬから支那にやつて
來るに違ひない。さうなれば西の方よりは歐羅巴各
國が攻めて來る。之が卽ち今日以後の日本の經濟上
の有樣であります。私は無暗に皆さんを威すのでは

ありませぬ。日々横濱とか神戸とかで行はるゝ貿易即ち輸出入の表を見れば直ぐ分る事である。それでも國民は知らぬ顔の半兵衛で居るのであるから情ない次第である。生産費が高い爲めに外國に賣れませぬから我國の造船所で船を造つても買人がないから事業は休止して職工を投り出さなければならぬと云ふことになる。投り出された者は働けなくなつて衣食住はその儘である。即ち食べたり著たり飲んだりして遊んで居るから日本の物價は高くなつて日本人の暮しは益々困難になる。人間は樂に暮せる間は人間らしい行ひも致しますが、食へなくなれば苦しさの餘り種々の罪惡を犯す。即ち今日人氣が惡いと云ふのは生活困難から來て居るのである。人氣が惡くなれば一番迷惑するのは抵抗力の弱い女や子供である。さうすれば人事ではないではありませぬか。是でも默つて見て居られますか、世界がどうならうと日本がどうならうと構はぬと言つて居られますか。段々此儘で行けば人氣が惡くなるのみならず第一各自の生存が困難となる。お上のお役人がどうかして呉れるであらうと思つて居るのは間違つて居る。國民がどうでも宜いと放任すれば向ふは月給さへ戴けば宜いから無爲無策で通す。國民が自ら是ではいかぬと自覺反省しなければ駄目である。

偖て國民と云ふ中に於ても婦人が今日の如く無理解無氣力無責任では甚だ困る。どうしても婦人が奮起して下さらぬと、男ばかり躍起になつた所で迚も完全な事は望まれない。例へば車の輪が片方ばかり廻つて片方が廻らなかつたならば車は進みませぬ。早い話が一家の內でも主人のみ働いても主婦が朝から晩まで寢てばかり居つては迚も一家の暮しが旨く行く筈はない。男子ばかり自覺した所で、婦人方が遊んで居つては完全に一家が動かぬと同時に日本の國が動かぬ。故に婦人の自覺が最も必要である。一體男子と云ふものは普通婦人に依て動かされるものである。現に我國では奧さん方がお動かしにならぬから外に出て藝者から動かさるゝ傾がある。何に

せよ婦人の勢力と云ふものは實に偉大なものである。子供を完全に教育することは迚も男子には出來ませぬ。如何に威張つても男子に乳は出ないと云ふ如く天然の分業なるものがあつて育兒の大任は婦人の天職である。又家政の整理は迚も男子に出來る事柄ではありませぬ。而して家庭は總ての根本である。家庭が完全せねば男子が十分に活動することの望めないのみならず、將來の爲め立派な國民を養成することも出來ない。況んや生活改善の如きに於てをやである。婦人の責任も亦重大なる哉である。

四、能率增進と婦人の自覺

既に述べたる如く今度の戰爭の爲め世界到る處に日本の品物が賣行くことになり、現に大正八年私は埃及を通過したが日本の品物がどの店にも飾つてあつた。又鞄なども佛蘭西出來だと思つて巴里の店で求め、立派な土產だと考へて威張つて歸ると豈計らんや日本で出來た品物であつたと云ふ珍談もある。それ位日本の品物が到る處に販路を擴げたに拘らず高からう惡からうと云ふので國外に於て日本の品物は漸次販路を失ひ、內に在ても日本の國民は良からう廉からうと云ふ外國品を買ふことになつて、輸入が增加する。それならば迚も之を防ぎやうがないかと云へば大にある。日本の品物が廉くて良くなりさへすれば總ての問題は立所に解決する。そんな容易いことが分らぬ筈はないと思ふけれども、事實一生懸命に品物を惡くして高くして居る。目下日本は輸入の超過に驚き小刀細工をして輸入を減らして輸出を殖やすことに苦心して居るけれども、肝心の根本原因が直らないから駄目である。法律や議論で直る譯のものではない。そこで品物を良くして廉くするのが最大急務である。それには色々むづかしい問題もありますが立法行政に亙る事柄は省略して各人の力で出來る事柄のみに就いて述べんに、總てが能率の增進に歸著する。詰り僅かの時間失費を以て多くの立派な物を造ると云ふに過ぎない。是は物を造るばかりではありませぬ、學生が學問を勉强する上

にも大切である。一生懸命になつて先生の言ふことを能く聽いて居れば能く分るのですが、半分居睡をして居れば幾ら先生が骨を折られても效がない。會社や政府の役人も矢張同じである。煙草ばかり吸ひ懶けて居つては仕事が擧らぬ。日本の帝國議會が喧嘩ばかりしてちつとも成績が見えないのは能率が缺けて居るからである。總て能率が缺けて居るのは、日本國民の生活程度が低い爲めである。國民の生活狀態は其能率に至大の關係を有つて居る。早い話が一生懸命に働き若くは勉強して各自が立派な成績を擧ぐるには十分に身體も健康でなければならぬ。精神も健全でなければならぬ。十分の活動を現すには其家庭に於て十分に身體を養ひ、榮養を攝り精神の慰安を得ねばならぬ。其仕事、職務の如何に論なく人間はどうしても身體が丈夫であつて精神が確かでなければ十分に能率を現すことは出來ない。此の目的を達するには家庭の完備が緊要である。例外の場合は別として家庭に於て十分に體力を養ひ精神を休むる事に依て初めて能率を發揮することが出來る。故に家庭の整はざる國民は能率が缺くことになる。國で言へば北米合衆國が能率が十分で我國は能率が缺けて居るのは國民の生活狀態、就中家庭に大關係がある。國民の能率と家庭の問題とは離るべからざる關係がある。

そこで家庭は御婦人の領分である。家庭に於て御婦人方が御働きなさらねば迚も男子では出來ない事が多い。日本に於ては婦人の家庭に於ける努力が足りませぬから日本の國民の能率が缺乏する。故にどうしても婦人の自覺自任活動を願はねばならぬ。婦人が自覺を家庭の上に現はさなければならぬ理由は茲に存する。最早此以外に日本の將來を有望ならしむる途はありませぬ。男子に於ても大に改むべき所があるのは勿論であるが、今後男子が幾ら奮發した所が、家へ行けば食べる物は不味いし、家の中はごた付くし、何等の慰安もなく、面白くない結果から戸外に於て滿足を求めては根本的生活改善は望まれない

日本の社會全體に亙る弊風は他にも由來する所があるけれども大に家庭の不備に關係を有して居るのは爭ふべからざる事實である。今後は婦人の努力により十分に家庭の爲に御盡しを願はねばならぬ。之が國家社會にお盡しになる最も適當な最も名譽ある仕事である。亞米利加の婦人が中々威張るとか、社會事業や政治にまで奔走して居るといふ非難があるけれども、彼等は家庭を十分に立派なものにして其餘力を以て公けの仕事に盡し、決して家庭を忽せにして居るのではない。例外の場合はあるけれど大體亞米加婦人の家庭に於て働く有樣は用意周到で一生懸命である。兎に角傍目も振らずに家庭を齊へ家事萬端を整へ其任務を果し、其餘裕で彼等は社會の事なり政治のことに盡して居る。唯亞米利加の婦人は社會的政治的事業に盡すから、それを眞似て所謂家庭に於ける其苦心を見ないで、樂な方ばかり眞似ると云ふことは餘り蟲が宜過ぎる。亞米利加の婦人が家の內外で盡すべきことは十分に盡すと云ふ上に於ては必要の教育も受け世間のことも總て研究して居る例へば宴會に於ても婦人が今度の華盛頓會議はどうであるとか斯うであるとか話をして居る。日本の婦人の中に、華盛頓會議所か華盛頓が何處に在るかも知らない者もある、此位違ふのである。婦人の自覺が足らないから斯の如く今日日本が憐れな狀態を示して居る。此儘で推移するならば段々日本國民の生活が困難になる。さうなると國民の身體が段々弱つて顏色が青くなるのみならず、人心も益々惡化する。生活の困難を防止矯正するには男子の努力のみでは完全に目的を達することは出來ない。今や實に日本の婦人方の自覺を要する時であると云ふことを申上げるのは斯ふ云ふ譯であります。

現今の日本のやうに眼の先ばかり考へて居つては他日行詰るのは必定である。今日は色々困つたことが多い。困つたことがあると云ふのは其原因があつて困るのである。此世界の大戰から來た經濟上の變動が其主なる原因となつて居る。此の原因を矯正す

るには中々骨が折れるけれども家庭の整理は各人の決心次第で出來る。家庭の整理は婦人の天職である婦人が先づ自覺しなければ此一大天職を完くすることは出來ない。之を亞米利加の如きは總て婦人の力に依て政治までも左右せらるゝ有樣に比べ來れば遺憾に堪へないものがある。例へば禁酒令なども女の力に依て大變な反對がありしにも拘らず實行せらるに至つたのである。政治上の事は別としても、各人の生活に直接至大の關係ある家政のみに就いて考へても婦人の自覺の足らざるより來る弊害の甚大なることを御考へになつたならば安閑空過すべき場合でないのは明白である。何卒十分御考へを煩はしたいのであります。

幸に泰平無事の時には宜しいかも知れないけれども、一旦事有る場合に於ては一番の被害者は婦女子である。今後戰爭のないことを希望致しますが、若し戰爭があるとすれば今度の歐羅巴戰爭に徵して、今日以後の戰爭に於ては男子だけでは迚も戰爭に勝つ譯には參らぬ。詰り婦人が同時に所謂後方勤務若くは戰場に於て補助的任務に當り活動せられなければ最後の勝利を制することは望めない。英米佛白に於て盛んに婦人が男子に代り之を助けて活動した爲めに勝利を得たのである。男女倶に國家の急に赴くことを國民總動員と申します。日本の婦人には斯の如き働きが出來ないとするならば國民半動員を以て甘んじなければならぬ。若し六千萬人の中半數は婦人であるとするならば三千萬人のみで滿足せねばならぬ。其三千萬人の婦女子が役に立たないのみか足手纏ひとなつては男子も十分に奮鬪することは出來ない。不幸萬一にも敗北をする場合には一番慘酷な目に遭ふのは婦女子であるのは云ふまでもない。又平常事なきの日に於ても商工業上の爭ひ即ち生存競爭は冒頭に述べたる如く絕え間なく行はるゝ。之に堪へて行くにも男子のみの努力では困難であつて、婦人の活動に俟つ所の多大なるは上來述べたる所に依つて明瞭なりと信ずる。殊に國際間の經濟的競爭が

日に月に激甚ならんとする今日、日本婦人の自覺の必要なるは多言を要しない。是れ婦人方には甚だ關係が薄いやうに見ゆるにも拘らず、世界が如何に動きつゝあるかに論及して一層の自覺奮鬪を切望する所以である。

叢談

化粧と衣裳

醫學士　高峰博

婦人の美容には三拍子といふことが必要であります。すなはち一にその肉體美、二に衣裳美、三に化粧美で、この三つがうまく調和がとれてゐるならば、世に美人として現れることができます、ところで第一の肉體美の大部分は、どうしても性來にまつので後天的には、たとひその幼少時以來の素養や修練で多少は左右されますけれども、その力はとても先天性にうち克つことは出來ませぬ、これに反して第二の衣裳美と第三の化粧美とは全く後天的のもので、其の衣裳をつける人の巧拙、化粧のしかたの適不適によりて、美容上に大影響を與へます。

されぱこの後の二つは、人工を以て左右し得るもので、その點に於いては第一の肉體美の如く、宿命的のものでありませぬ。とはいふものゝ、この衣裳化粧の二つはたやすきがごとくにして、しかも實はなか／＼むづかしい技術なのであります。またそれが先天的、宿命的のものでないとはいふものゝ、所詮第一の肉體美に隷屬して、はじめてその美を發揮し得るので、こゝに於いてかどうしても第一の性來的關係をきり離して考へることは出來ないのであります。『むづかしい技術』と申しましたのは、こゝのことで、つまり各人は各個にその先天的美容をもつて

ゐる、――も一つ言ひかへれば、美人といふものは必ず個性的のもので、決して一律一定の範型があるわけではない――ですから、美人といつてもみな各人各個にそれぐ\の特徴をもつてゐるものでありますが、こゝの眞相を知つてゐれば、これに附隨する衣裳や化粧もまた、同樣に各人各個に適應したやうに裝はれねばならぬといふことが明かになり、隨つて各自銘々におのが衣裳や化粧を發明せねばならぬことになります。だから、人によつて上手下手もでき、またむづかしいわけであります。また自身を省みないでみだりに流行をのみ追ふことの馬鹿げてゐることも分りませう。

されば元來は萬人萬樣に衣裳や化粧――一口にいへば美裝の方法を講ずべきでありますから結局各人の熟練と研究とにまたねばなりませぬが、大體の所は共通し得る原則として、まづ次のやうなことを承知しておかれるとは大に參考になるかと思ひます。

(一)人體の皮膚は、其の背景や周圍の色が橙黄色ならば、そのために皮膚の方が多少蒼白乃至帶紅色に見え、之に反して背景や周圍が紫菫色ならば皮膚のはうが多少橙黄色に見えます。これは眼の視神經がさういふ風に錯誤して感ずる所の光學上の生理的物理現象であります。(二)肥滿し且短軀の人は細い竪縞のあまり目立たない色彩の衣服の方がよく調和し、これに反して華美なのは、かへつて醜くなります。(三)長身痩軀の人は、横縞か格子縞かまたは餘りはつきりしない柄の模樣物がかへつてよく似合ひます。(四)顏貌が快活な晴れやかな氣分の人には、衣服の縞柄もはつきりした強ひ感じのものでもよくうつりますが多少陰氣な相好の人には衣服の方でも、靜かな間色的の色彩をもつて來ないと調和しませぬ。(五)日本衣は非常に色彩が複雜しますからその中心になる肝腎な點、卽ち第一に自己の容貌の長所短所を知る外に、髮の形、半襟、帶、それから裾模樣、洋傘の色等の大きな個所に調和を取つて、一見して快感を與へるやうな美裝となし、更に細かい

個所卽ち「オペラバック」や、下駄の鼻緒や、細紐などに審美的の注意を向けるやうにすべきであります。

近眼の話

莊司秋次郎

近頃は眼鏡をかけてゐる人が非常に多くなつた。汽車や電車に乘ると一つ客車中に二三人は必ず眼鏡をかけて居る人を見受ける。書生さんと云へば眼鏡は附物であるかの感がある。而してこれは大部分近視の爲である。徵兵檢査で不合格になるのは、眼病の爲に丙種丁種とされるものが一番多い、その中でも近視眼の爲に不合格になるのが最も多い。學校の入學試驗の時にも、體格檢査に於て最も故障の多いのは眼で、これも大部分近眼である。而かもそれが年々多くなる傾向を示して居る。それも男子のみではない、女子の方は一層增加する模樣である。尙ほこれは都會の所謂智識階級だけの現象ではない、地方の農民にも多くなつて來て居るのである。

近眼と云へば世人は何とも思はぬ、オデコとかソツパとか云ふ位の事に考へて居るが、これは立派な眼病である。而かも治癒することの出來ない眼病で往々遺傳するものである、且つ屢〻度が進み、殆んど盲人同樣の程度までも增進し得るものである。一體世人が近眼を馬鹿にして等閑視してゐるのは、痛くも痒くもなし、傳染もせず、眼鏡を掛ければ別に不自由も感ぜぬと云ふ所から氣にも止めないのであるが、眼鏡を掛けなければ普通に物が視えないと云ふのは既に餘程の不自由である。且つ度が進めば、多くは眼底の變化も著しくなつて、遂には眼鏡を掛けても普通の視力は出なくなるものである。人に傳染しないと云ふが遺傳する傾向がある。個人としては左程にも感ぜぬが、これを國民の上に就て考へて見ると、近眼と云ふものが國民の能率を減損して居ることは莫大なものである。小學校の生徒で近眼の爲に知らず識らずその小さな腦を苦しめ成績の不

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

良になつて居るもの、甚しきは神經衰弱の如き症狀を呈し或は低能兒扱ひをされ居る者さへある。更に日本の軍人は皆眼鏡を掛けなければ鐵砲が擊てないと云ふやうになつたら何うであらう。斯く思ふて來ると、近視眼なるものは國家、社會の爲に隱然重大なる損失を致して居ることが解かる。

さて私が今日特にこの近眼のお話を致さうと思つたのは、世人が近眼と云ふものゝ如何なる眼病であるかを知らない、否、眼病とさへ思つてゐない事從て他の病氣の如く氣にせず忽諸にして居る事、而かも不自由を感じ初めた近視眼者がいゝ加減の眼鏡を用ゐて却て眼を惡くする場合の多い事、單に近眼と云ふても、適切の眼鏡を選定するのには、種々むづかしい事情のある事、而かも其の理由を知らない爲に眼科醫の苦心を解せず、遂に自ら不合理の眼鏡を用ゐて益々眼を惡くし、恢復すべからざる視力喪失を來す事、近來學生間には極めて複雜な屈折異常が多くなつて來た事、斯樣に近視眼の增加して來ることは國家の爲に憂ふべき現象である事、凡そ以上の如き事に就て、もう少し一般の理解を希望するが爲に、可及的通俗に近眼の如何なるものであるかを說明して見たいと思ふのである。

* * * *

近眼とは如何なる眼を云ふのであるかと云ふことを說明するのには、先づ眼の屈折及び調節と云ふことをお話しなければならぬ。これには圖があれば誠に便宜だが、今日は仕方がないとして、吾々が同一眼を以て三百「メートル」前方の的を狙ふことも出來れば、直ぐ鼻前で小さな腕時計を視ることも出來る卽ち一個の眼で望遠鏡の働もすれば、顯微鏡の働もすると云ふわけである。これが卽ち眼の調節作用と云ふものである。次にこの調節作用は何うして起るかと云ふと、眼の光線屈折機能と云ふことを知らなければならぬ。今試みに一つの凸「メガネ」卽ち兩面の凸隆した所謂兩凸「レンズ」を通して日光を紙の上に落すと、その「レンズ」と紙との距離に依て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

紙上の一點に光線が集合されて、其處が焦げ、遂に燃え出す。煙草に火をつけることも出來る。これが其の蟲「メガネ」の燒點と云ふのであるが、その「レンズ」の厚い程、卽ち度の強い程、近距離で火がつく。若し日光でなく蠟燭の火を「レンズ」で紙の上に集めれば、紙は燃えないが燒點の處で最も明るい一點が出來る。今紙も「レンズ」も動かさず一定の處に置いて、常に同一の處に燒點を結ばせようとするのには、その蠟燭の距離に應じて、卽ち蠟燭が遠い處に在ればそれに應じて薄い「レンズ」を用ゐ、近い處に在れば、それに應じて厚い「レンズ」に替へなければならぬ。吾々の眼の角膜、その後に在る前房水、特にその陰にある所の水晶體及び硝子體など丶云ふものは何れも蟲「メガネ」の如く光線を集合する作用があつて、その燒點を眼底の網膜の上に結ばしめるやうな仕掛になつて居るのである。それで水晶體が蟲「メガネ」で、網膜が紙で、物體から反射し來る光線が、その網膜上の一點に集合すれば、玆に物の形が映つて明かに視えると思へば宜しい。然るに吾々の眼は遠い物を見るにも、近い物を見るにも「レンズ」を替へるわけではない、何時も一つの「レンズ」で能く物が視える、これは何ういふ理かと云へば、遠い處を視る時には、水晶體は出來るだけ扁平になつて居るが、物體の眼を離る距離が近づくに從て水晶體が膨れて常に網膜の上に物體の像を結ぶやうに働くからである。卽ち前に云ふた調節機能に依て水晶體の屈折狀態を加減して何時も網膜上に物像を結ばしめると云ふことである。これで略ゝ眼の調節及び屈折と云ふことが解かつたと思ふ。

それでいよ〳〵近視眼と云ふものに就てお話をすることが出來る。但し近視も種々の異常に依て起るが、玆にお話するのは普通の近視、所謂軸性近視と云ふもの丶お話である。そも〳〵軸性近視と云ふのは、他の角膜とか水晶體とかの異常に依て起るものとは異つて、眼軸、卽ち眼球の前面から後面に至る軸の長さの關係で起つた近眼の謂である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

元來正常の眼球は、眞圓の球形と云ふわけにはゆかないが、先づ略ゝ毬の様な形をして居て、調節機を休めて遠方を視る時には、無限の距離より來る光線が丁度網膜の一點、黄斑部に集合する様になつて居る。然るに遠視眼と云ふものは、極端に云へば南瓜とか「トマトー」の様に眼軸の短い、扁平な形をして居る眼球で、遠方より來る並行光線は、網膜上に像を結ばず、網膜の後方に至て結像することになり、從てその途中に在る網膜には朦朧たる影を生ずるのみである。それで此の場合に丁度網膜上に結像せしめるのには如何にすれば宜いかと云ふと、眼軸を長くすれば宜しいのであるが、それが出來ないとすれば、眼の屈折力を強くして、もう少し前の方で丁度網膜の上に結像せしめるより外に仕方がない。それで遠視の人は兎角調節機を努力して水晶體を膨らして屈折の度を強めむとして、從て知らず識らず普通の人よりも常に勞してゐるわけになる。故にこれを免れむとするには勢その調節機を勵まして膨らした水晶體の度だけの凸面「レンズ」を眼前に掛けて初めて普通の屈折狀態になる。これ即ち遠視眼者に凸面「レンズ」の眼鏡を處方する所以である。

然るに本問題の近視眼は、前述の遠視眼とは丁度反對で、眼軸が長い、即ち奥行の深い眼球で、極端に云へば眞桑瓜の様な形をして居る、その爲に眼に這入て來る所の並行光線は、普通の眼の屈折狀態では網膜に達せざる途中で像を結び、網膜上には再び朦朧とした輪のやうな影が出來るだけである。さて此の場合に恰も網膜上に明瞭なる像を結ばしめやうとするには、眼軸を短くすれば宜しいわけであるがこれは出來ない。然らば屈折力を弱くすれば宜しい。所が調節機を勵まして屈折力を増すことは出來るが、調節機を休ませた以上に水晶體を扁平にすることは出來ない。即ち屈折の度を消極的に減ずることは出來ない。それで近視眼者は遠視眼の如く調節力を奮勵してその屈折異常を矯正することは出來ない。そこで止むを得ず物を眼に近づけるか或は物に

眼を近づけて網膜上に結像せしむる工夫をする。即ち眼を近寄せて讀書するのは近視者の特徴である。この不都合を免れて、遠方も能く視え又讀書なども普通の距離を保つて出來る爲には、凹面「レンズ」即ち光線を分散せしめる「レンズ」を用ゐた眼鏡を掛けて、網膜の前方で結ぶ所の像を更に後方網膜上に於て結ぶやうに矯正しなければならぬ、即ち近視眼に凹面「レンズ」の眼鏡を處方する所以である。

　これで以て近視眼とは如何なる眼であるか、又これを矯正するのには近眼鏡、即ち凹面「レンズ」を應用すると云ふことだけは大體會得されたことゝ思ふが、されば云ふて、自分は近眼らしいから近眼鏡を掛けさへすれば宜いと思ふのは大間違である。何故ならば自ら近眼だと稱するが、よく檢査をして見ると、其實反對に遠視であつたり或は遠性亂視と云ふものであつたりする場合が尠くない。又は實際近眼には相違ないが、必要以上に强度の近眼鏡を用ゐて居る人が尠ない、のみならず全く遠視であるのに近眼鏡を掛て居る人さへまゝあるからである。或は偶然適當の度の眼鏡を選み當てたかと思ふと、左右の瞳孔の距離を計つてゐないから、眼鏡の中心と眼の中心との關係が誤つて居る。又實際の近視の度が例へば十度であるからと云ふて、必ずしも常に十度の近眼鏡を掛けなければならぬと云ふものでもない、これには其人の調節力如何を斟酌して或は實際の度よりも弱度の眼鏡を用ゐ、或は遠方の物を視る場合にのみ眼鏡を用ゐて然るべき事もある。特に左右の眼が近視の度を異にする場合には、その眼鏡の度の釣合がむづかしくなる。この際には往々一方の眼球が外斜視狀を呈して居る爲に、單に適度の眼鏡を選むのみでは却て物が二重に視えて困ることがあり、更に三稜鏡を加へる必要のあることがあり、又は眼鏡を用ゐぬ方が宜しい場合もある。更に近視に輕度の亂視が合併して居る場合であるとか、輕度の近視で老視が始まつたとか、眼底の變化で中心視力が衰へた場合とか、高度の近視で、それだけの度

の眼鏡を用ゐても利益のない場合とか或は是非それだけの度を用ゐなければ效のない場合とか、その他これ迄無法な眼鏡を用ゐ來つた爲に、眼に癖がついてゐる場合だとか、尙ほその人の仕事に依ても加減しなければならぬもので、眼鏡の選定と云ふ事は、決して門外の人の想像してゐるやうに容易なものではない。場合に依ては一週間も二週間も費し、或は全く眼を使ふことを止め、藥を點眼して三回も四回も精細な檢査を行つた上でなければ、合理的な適切な眼鏡を處方するわけにはゆかぬ場合が尠くない。

右の如き理由に依て、眞に適當な眼鏡を選定してやらうと思ひ、隨分忍耐して面倒な檢査を續行して居る中に、屈折異常の檢査が出來ない藪醫者と見限るものか、又は徒らに檢査に日數を費して診察料を貪らうとする山師醫者と見棄てるものか、中途にして再び來らざる患者のまゝあるのは如何にも殘念な事であるが、その人の爲にも氣の毒な又遺憾な次第である。殊に近年になつて女學生の間に斯樣な複雜な種々の斟酌を要し三稜鏡なども併用して加減をしなければならぬ樣な屈折異常が著しく多くなつて來たやうに思はれる。

さて近眼といふものは、上に述る如く隨分厄介な眼病であるのに、これが非常に多い、而して益々多くなり且その性質も惡くなつて來る形勢を示して居る。特に近頃女學生に近眼が多くなり、而かも女子の近眼は男子のものに比して度が進み易く、所謂惡性の近視と云ふ傾向を示して來るものが尠くない。且つ斯樣な高度の近視には大抵遺傳の關係が認められるが、これが又後世子孫に仇をすることになる。私はこれに氣がついて居るので特に本會々員諸姉の注意を促して置きたいと思ふのである。

然らば、その近視豫防の方法如何と云ふことになるが、これは實に大問題で、他の傳染病に對するが如く明確なる豫防方針を立てることは頗る困難である。何故かと云ふに、近視の起る原因、その成因に就て未だ不明の點が多く、恐らく又決して唯一の原

因に由るものではなく、種々の原因が相依て斯様な異常を醸生するものと思はれるので、それを明かにしない限りは、確然たる豫防方針は立たぬわけである。併しながら諸種の觀察、從來の學說を綜合して考へると大體の豫防心得の見當がつく。依て稍々專門的研究の領分に深入するの嫌はあるが、極簡單に近眼成立の原因に關する從來の經驗、觀察並にこれに關する學說の一端を述べて見ることゝする。

近眼は田舍の者よりも都會の者に多い、これは成人に就ての比較の上のみでない、小學校の子供等に就て見ても田舍の子供よりも都會の子供に近視眼のものが著しく多數である。

それから學校の級が進むに從て近視眼者が多くなる、即ち尋常小學生には近眼は稀であるが、高等小學になるとボツ／＼近視眼者が現はれて來る。それから中學校並に高等女學校に至ると約三分の一位も近視眼者が居る、更に高等學校、女子大學程度になると、これは餘り前階級に於けると大差を認めないが、大學生となると更に幾分近視眼者を增し、殆ど半數に近い近視眼者を見るのである。これは年齢の關係か、その學業の關係か、又はこの兩者が與つて居るか、兎も角もこれは日本に於ても西洋に於ても共通の事實である。

讀書をしたり、細かい仕事をする者に近眼が多いと云ふ事も事實らしい。尤もこれは輕度の近眼は、餘り眼を使はない大まかな仕事をする勞働者などには別に苦にもならないが、細かい仕事をする者は容易にその障碍を感ずると云ふ點もあるが、兎に角も微細の近業を營むものに多いと言はれて居る。

次に一家族悉く近視で、その親戚の間にも、近視眼者が多いと云ふ血統がある。而して斯樣な血統の中には往々極めて高度の近視の者が出る。高度近視眼の者の兩親は必ずしも近視でない、又高度の近視眼の兩親からは必ず近眼の子供が生れると限つたわけではないが、兎に角近眼には遺傳の關係あることが認められる。

右の如く種々の事實が認められては居るが、それでは如何なる理由に依て、左樣な事情の下に近視眼が起るかと云ふことになると、どうも說明が困難である。從て今日これが解釋を試みる學說と云ふものも實に種々雜多で、何れも滿足な說は無い有樣である。各學者の說を茲に紹介することは困難であるが、今その一つ二つを擧げて見るならば、机などに向て頭を前屈して細かい仕事をすれば、眼に充血して且つ眼球が內側に寄る所から、その血液の歸りが惡くなり、眼球の組織が軟かになる上に眼球の內部の壓が高まるから、それで近視眼と云ふやうな狀態の眼になるのであると云ふ、これが充血說と云ふのである。

それから、又調節機の痙攣と云ふとを以て解釋しようとする調節說なるものがあり、近い物を視る時に眼球が內側に寄る、卽ち輻輳作用と云ふことから近眼の成立を解かんとする輻輳說と云ふのがあり、又近視眼と云ふものは皆遺傳に依て起るので、仕事や何かの關係に由て起るのではないと云ふ遺傳說を唱ふる人があるかと思ふと、顏の橫幅の廣い者は眼窩の解剖學的關係から自然近視眼になるのであると說く眼窩構造說と云ふのがあると云ふやうなわけで、其他にも種々の理窟を唱へらるるが、何れも一理はありさうで而かも滿足には解釋されない、各々その說明の不完全な點あるを免れないのである。

事情斯の如くとすれば、今日の所吾人は到底一學說に據て近視豫防を規定することが出來ない。それで止むを得ず、從來の經驗觀察に鑑み、諸學說を綜合參酌して、近視の素因、誘因乃至原因となりさうな事は可及的これを除くやうに努めるより外に仕方がない。

卽ち先づ全身の強健を計り、都會に住する者は努めて屢々野外に出で、眼を使ふ仕事には成べく明るい室を選み、餘り文字の細かい不鮮明な書物を忌み机に向ては姿勢を正しくして餘り頭を前屈せぬやうに注意し、屢々眼を遠方に轉じて調節機及び輻輳機

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を休ましめると云ふことに氣をつけ、更に婚姻に就ても出來るだけ高度の近眼の男女の配遇を避け、近視の傾向ある小兒は、成るべく早くこれを發見して適當の注意を與へ、若し近視の徴候が現はれたならば、早く眼科專門醫の診察を受けて適當の眼鏡を與へ、その進行を停めるやうに氣をつけねばならぬ。これが最も大切な事である。世間では眼鏡を掛けると癖になり、度が進むなどゝ云ふものもあるが、それは全く誤つて居る說で、それは偶〻不適當な眼鏡を用ゐるが爲なることは讀者諸氏の直に看破せらるゝ所であらうと信ずる。實は一般にこの邊の常識を備へられむことを希望してこの一篇を草したのである。

育兒

離乳後子供に與へる食物

醫學博士　竹野芳次郎

人の子は、その母の乳を以て養ふべきものなることは申迄もないが、通常滿一年に達すれば既に離乳するのが當然であります。扨て今迄は最も適當な自然の榮養法に依て育て來たものが、急に勝手な成人の食物に替へられてはたまりませぬ。この離乳後しばらくの間の榮養法は餘程むづかしい事で、うつかりすると今迄完全に發育して來た子供が忽ち胃腸を害して終生病弱の人となり、或は完全の發育を遂げかねるやうな事があります。これで乳離後の食物は餘程注意を要するのでありますが、理窟は兎も角實際には如何なる食物を與ふべきかゞ問題であります。これに就て竹野博士のお話は誠に有益なものと存じますので、幼兒教育第三號から茲に轉載さして頂くことゝ致しました。（編者）

赤坊が母親のお乳を離れてから、卽ち生後滿一年を經てから、五歲になる迄の、子供の食物に就いて申上げてみたいと思ひます。

この時代は一番食物のむづかしい時でありまして大人と同じ食物を與へては、子供の完全な發育をとげさせる事は出來ないのであります。然し、殘念な事には、我國の家庭では、二三歲になれば、大人と同じ食物を與へて平氣で居りますが、之は榮養發達の上から大いに間違つて居るのであります。

殊に、滿一歲から三歲の間の食物は、むずかしいものでありまして、今迄飲みなれて來た母乳から他の固形物に移る時で、食物の過渡期とも云ふ時であります。この時に、急に一時に食物を變へると、子供が腸胃を損じますから、漸次流動物から固形物へと移つてゆかねばなりません。乳兒も消化器病が多うございますが、滿一歲から三歲迄の子供には乳兒より更らに消化器病の多いのは、食物の加減によるのであります。

赤坊が生れてから滿一年の間は、母乳、卽ち流動物で然も動物性食物をとつて育ちます。滿二年からは動物性食物ばかりでは完全に行きませんから、他に植物性食物を與へねばなりません。

此處に一寸お話をつけ加へて置かねばなりませんのは、滋養素に就いてゞあります。滋養素とは、蛋白質、含水炭素、脂肪、鑛物質の四つが主なるもので、其他近年になつて、「ヴィタミン」が大切であると云はれるやうになりましたが、大體はこの四つが主なるものであります。

生後滿一年すぎた子供は、蛋白質は主として牛乳から取ることにすればよろしいです。滿一年立つても尙、母乳を與へてゐるのは、完全な滋養素をとる上からよろしくありませんから、母乳はやめた方がよいと思ひます。蛋白質は今申したやうに牛乳より取りますが、鑛物質も亦牛乳より取ります。牛乳と母乳とを比較すると、牛乳は母乳よりも蛋白質三倍鑛物質五倍と云ふ割で、遙かに母乳よりは量が多い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のであります。

含水炭素は、生後一年迄は母乳或ひは牛乳等の乳糖の中から取つてゐましたが、滿一年後は、澱粉から取つてもよろしいです。澱粉質のものは、お米から出來たもの、卽ち、重湯、お粥、御飯でありますが、此のうち御飯は滿一年後の子供には早過ぎます。その代り、小麥から出來た食「パン」を與へてもよろしいです。脂肪は大人ならば、「フライ」、「テンプラ」、肉などから取りますが、一年過ぎた子供には、さういふ物を與へる事が出來ませんから、矢張り消化し易い牛乳より主として取ることにします　食「パン」につけた「バタ」等は少々ならよろしくあります。

生後滿一年位過ぎた子供に、今迄等閑にされてゐたのは鑛物質でありました。この時分の子供は、歩き出して運動をし始めて來ますから、骨骼を丈夫にする事をせねばなりません。血液をこしらへる成分になる鐵分は、赤んぼが生れて來る時には、母の體内から殆んど一ケ年必要であるだけの分量を持つて來るものですが、滿一年立つてからは、その鐵分はなくなつてしまふのであります。それで、食物からその鐵分を補はねばなりません。所が母乳、牛乳には、血液の成分となるべき鐵分も、骨の成分となるべき「カルシューム」もないのであります。それで鐵分と「カルシューム」は野菜から取らねばならないのです。今迄、世間の人々は、野菜を食する事を等閑にし、子供に野菜をやると便が靑くなるとか、不消化であるとか云つてゐますが、之は野菜を上手に調理して與へないからであります。

野菜の中で鑛物質を多く含んでゐるものを左にあげます。左の分量は、野菜千瓦につき鑛物質の分量であります。

チシャは一八瓦（鐵分は鑛物質の五・三%、「カルシューム」は一一・九%）

ホーレン草は一六・五瓦（鐵分は三・四%、「カルシューム」は一一・九%）

ハクサイは九・九瓦（鐵分は〇・七%、「カルシュー

ム」は一二・六%)
　カブラは八瓦(鐵分〇・八%、「カルシューム」一〇・六%)
　牛乳は六・四瓦(鐵分は〇・三%、「カルシューム」は二二・四%)
　人乳は一瓦(鐵分は二・二%、「カルシューム」は三七・八%)

　これで見ますと、チシヤは一番鑛物質が多くあります。鐵分の多いのはサラダ菜ですが、サラダ菜はたやすく得られませんから、ホーレン草を用ひるがよくあります。ホーレン草は何處の八百屋にもあり、柔らかでもありますから、一年を經た位の子供には一番適して居ります。ホーレン草も始めは、ぢかに與へず、よく煮て、細く切りたゝいて、うらごしにかけて、お醬油と砂糖で味をつけて與へます。ホーレン草等をやると、子供の便が青くなつたとて心配する母親もありますが、決してこれは心配するに及ばぬ事で、かうして料理して與へれば、消化もよく結構です。鑛物質も含水炭素も共に含んでゐるものとしては、馬鈴薯、人參もよろしく、つぶして、うらごしにかけて與へます。子供はいろ〳〵の野菜をまぜたものを喜びますから、このやうな料理法でませてこしらへて食べさせると滋養になります。

　次に、鑛物質を取るに必要なものは、果物であります。これは子供の食慾を増し、消化をたすけます。

　バナナはそのまゝ皮をむいて與へればよろしくありますが、リンゴやナシは、皮をむいて、大根下しですつて、汁だけ與へるか、或は汁と共に下ろした果肉を與へてもよろしくありますし、二年位經た子供なら、「ジャム」のやうに、砂糖で煮て與へてもよろしくあります。

　これで生後滿一年から、二年三年までの子供の食物を大體述べましたが、次に四年から五年までの子供の食物に就いて述べます。

　生後四年五年になりますれば、蛋白質は、肉、卵魚類(脂の少いもの、アマダイ、カレイ、キス、アヂ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の類)等から取つてよろしくなります。魚類はさしみとしてはいけませんが、煮るとか、燒くとかして與へればよく、肉類も、おぼろにたゝいて煮て、御飯にかけて食べさせるのがよくあります。卵は、一年二年の頃には黄味だけ與へますが、四年五年は白味も一緒に與へてよろしく、半熟、燒き卵にして與へます。殊に卵の半熟は消化よく、燒卵は餘り煮るとかたくなりますからほどよくし、ゆで卵は不消化ですから、餘り與へてはなりません。

含水炭素は、御飯の中から取るやうにし、脂肪は魚類、肉類からも取る事が出來ます。鑛物質は、生後一年二年の子供の食物で申したやうに、野菜から取ります。野菜も、四年五年には數をふやし、大抵のものは食べさせてよく、サツマイモ、ヤツガシラ、コイモ、カブ、キャベツ、ハクサイ等の煮たものがよろしくあります。たゞ、ゴボー、ハス、コンニヤク、魚類では、スルメ、イカ、タコ、果實では、ビワ、ブドー、モモ、ハタンキヨ、スモモ等は、四年五年の頃には與へぬ方がよろしくあります。

終りに、間食に就いて申したいと思ひます。お母さん方の中には、間食は衛生上よくない、と云つて居られる方もありますが、子供の發育を助けるためには、與へた方がよろしいと思ひます。午前十時及び、午後三時の二度位、時間を定めて、與へればよいのです。間食には、お菓子をどこのお家庭でも與へて居られますが、食後直ちにお菓子を與へるのは、衛生上わるいのであります。どんなものを、間食に與へてよろしいか一寸申上げますと、

生後一年には、ウエーハー、衛生ボール、カルヤキ、フーセンアラレ、生後二年三年には、上等のビスケット、イソベセンベイ、カルルスセンベイ、キヤラメル、ドロップ、水飴、四年五年には、カステラ、シホセンベイ、堅いビスケット、カタパン等。

お菓子は砂糖氣がありますから、澤山與へては胃腸の消化をわるくしますし、又お菓子がおいしいため食べすぎて、三度の食事をとらぬやうな事になり

易くなりますから、よく注意して、量を過さぬやうにせねばなりません。

六歳以後は、大人の食物を普通にならしてよろしくなります。前述しましたやうに我國の家庭では、衞生の知識の進まない爲め、三四年早く大人の食物を子供に與へて居りますが、丈夫な子供は胃腸も悪くせずどうにか育つてゆきますが、これは眞の子供の發育上からは實に悪いのであります。

小兒結核の豫防

ツェルニー

獨逸のツェルニーと云ふ人が小兒結核の豫防に就て述べた要點を抄錄して左に紹介する。

小兒期に起る悪性結核の數は增加して來た。最も合理的の豫防法は、傳染の機會を避け且つ國民に結核病と云ふものゝ性質を說き聞かすにある。結核は傳染であるから從來行はれたよりも一層徹底的に豫防の方法を講ずる必要がある。不良の牛乳から結核に感染するが尚ほ肺結核患者から直接に傳染することが多い。結核病は外に通ずる開放性結核と外には出ない閉鎖性結核とに區別することが出來るが、社會衞生上からいへば臨牀上並にＸ光線檢査で證明される肺結核は傳染するものと看做すのが當然である。

乳兒及び幼兒は肺結核患者より隔離しなければならぬ。結核は單に小兒の兩親及び兄弟から傳染するのみならず、召使の者などに依ても移される。故に小兒の保育に與るものは健康者でなければならぬ。又學校生徒で肺結核に罹つて居るものは登校を許さぬことにしなければならぬ。

結核豫防上緊要なことは、早く診斷をつけることである。その診斷を確實にするのにはＸ光線を應用するのが便利である。

傳染を豫防する外に尚ほ必要なことは、既に結核に感染した小兒の保護に氣をつける事である。乳兒

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

期に發生した最初の結核は、何等の障碍も殘さずに全治して一生涯何の惡影響もないものが尠くない。併しこれが矢張結核性の病氣を起す誘因となることもある。

何れにしても榮養を適度にすることが大切で、過食せしむることは却て害がある。一定時日間少量の牛乳だけを與へると宜いと云ふ者があるけれども、これは何も特別の效驗ある筈のものでない。これに反して新鮮の空氣を呼吸することの出來る地方に住居するのは頗る必要なことで又實際その效果の著しいものがある。それも僅かに四週間とか六週間とか云ふ轉地療養では十分に目的を達し難い。又光線療法と稱して、むやみに光線の效能を過信するのは間違つて居る、光線は結核の治療劑であると云ふわけにはゆかぬ。結核に罹つて居る部分がある以上は必ず醫者の治療に俟たなければならぬ。療養所に收容された結核性小兒は是非確かに治療の效果が現はれる迄滯在するやうにしなければならぬ。療養に於ける治療と共に更にこれを組織的に保護する企が必要な事である。

家庭衛生

臺所の改造

野口家庭經濟會長は、便利で明るい臺所の設計に就て左の如述べられました。

臺所は生活に最も深い關係のある所でありますから最も清潔に、又最も採光よく便利に設備しなければならぬ所であります。しかるに我國の家庭では臺所について餘りに無頓著で、恰も一家の附屬物の樣な考へで座敷は立派にしても臺所は建物の片隅に粗末に造つておくといふ有樣です、從つて臺所の改善は家庭の一大急務であります。

臺所を清潔にするには先づ天井の造り方を改めね

ばなりません。これまでの天井では天井裏の掃除が行屆かない許りでなく天井と梁の間は鼠の住居となつて居るので其糞や塵の落ちる缺點があります。天井の改善法としては二階建の場合には梁の上に直ぐ厚い板を敷いて其上に二階の疊を敷く事です。かうすれば天井と梁の間に鼠の巣くふ隙間がなくなるので塵などのつもる憂ひがありません。また平家建の場合には張り天井を廢して裏板作りにするのです。かうして天井なしにすれば天窓によつて室内に出來た惡臭などを自由に外部に發散させる事が出來る許りでなく、狹い室を廣く感じさせる事にもなりますまた天井を廢する事は採光の點からいつても便利です。明り窓をつけるにしても天井があるとなか〳〵難かしく且天井と屋根との距離が遠い爲窓の眞下以外の場所は暗くなるといふ缺點があります。それで天井を廢して引窓をあけ、欄間を多く造つて展開的にするのが最も便利です。また壁は清潔及採光上から十分の注意を拂はねばならぬ所でありますが、衛生上最もよいのは玉子漆喰で、其下三四尺位の處に羽目板を張るのです。壁が玉子色ですから電燈の光りでも物が白く見え、目の衛生からいつても結構です。尤も臺所は水氣が多くて汚れ易い所でありますから羽目板には「ラック」を塗つて置く必要があります。

次に臺所の床を板敷にするか土間にするかといふ事は問題でありますが、設備さへ整つて居ればどちらでも差支ないと思ひます。板敷の方は大抵の家庭では草履をはいて用を辨じて居りますが、草履は板の間を汚すばかりでなく塵を立てる缺點がありますから、板の間は緣側式にして草履は廢したいと思ひます。また土間は水洗の自由にできるといふ長所がありますが、下駄で歩かねばならぬ所がありますから、歩み板を敷いてその短所を除くことが必要です。

最後にながしはトタン張かまたは石煉瓦などで造つて、なるべく中央に設備するやうにして、立つて自由に用事ができる樣にしたいと思ひます。また仕

事體は、また板の様な小さいものでは十分調理が出來ない許りでなく不淸潔になり勝ちでありますから相當の大きさにして二箇或は四箇の抽出しを造つて、其の中に調理に必要な道具を入れる様にすると非常に便利であります。

日本服の改良意見

現在の日本服の不便で不經濟で不作法な物であると云ふことは爭はれぬ公平な批評であらうと思ふが私一個の量見では、小利口な鵺的改造などは實際に行はれるものでない、家屋の改造其他の改良にも俟たなければならぬ事は勿論であるが、兎に角無理にも洋服に改めてしまつて、それから徐ろに不都合な點を考へて實際我が國土に適合する服裝を作り上げるより他に仕方がないと思つて居る。この點からして最近女學校の生徒及び教員も皆洋服を用ゐるやうに規定されさうだが、至極結構な事であると思ふ

それでも尙ほ且つ從來の日本服に戀々たる人が多く様々の辯護を試みたりするが、自分の平素唱へてゐる意見は差控えて、左に某裁縫女學校の教師の談と云ふものを紹介する。これは吾々と異り、當の專門家だけに又吾々の一寸氣がつかぬ裁縫上の不便不都合を認めて居る、良い參考になる。

私達の學校では目下主に日本服の裁縫方法を教へてゐるのであるから何れかと云へば日本服は現在の儘であつた方が好い、併し實際を云ふと日本服位不便極まるものはなく、第一の不便は袂と云ふ無駄ものがある爲め活動に邪魔なる事、第二の不便は一箇所何處かに痛みが出來ても全體を縫ひ直さねばならない、之は洋服のやうに上著、チヨツキ、ズボンと三つて分れてゐなくとも二つ位に分けてあれば左ういふ場合の縫ひ直しの手數は半分で濟む、第三の不便は衣服の下半身部の工夫が足りてゐないので醜體を現はす事である、若し之に何とか工夫がつけば袴は不用となり、電車の中の太股云々の揭示も不必

要となる、第四の不便は衣嚢のない事で、之が爲め日本人は西洋人や支那人よりも落し物を餘計にする第五の不便は袖口や裾から寒い風が入る事などであるが、此不便を除かうとすると洋服か支那服のやうになつて了つて日本服の優美な點が失くなつて了ふ、衣服改良の難かしい點は此所に在る、モ一つ改良服の行はれないのは服裝改良と唱へる人々が少しも改良されない日本服を著てゐる事である。

著物の始末

そろ〱夏らしくなつて來た。今迄著てゐた著物は藏はなければならぬ。と云ふてそのまゝ藏ふわけにはゆかぬ、それ〲洗濯をした上の事である。先日ある新聞に次の如き冬物の洗ひ方が書いてあつた。これを述べた洗濯屋さんが惡いのか、それを書いた記者が善くなのか知らぬが、處々變な所かあるけれども、其處を訂正しつゝ、多少の參考にもなるかと思つて其儘こゝに紹介する事とする。

昨今は冬物の藏ひ時で、著物はなるべく解いて生地を洗ひ仕立て直してから藏ふことが肝要で、その洗ひ方は木綿だと軟水で洗ふに限る、軟水とは極冷めたくない水をいふので（衛生學上水質を論ずる時に云ふ軟水とは微溫湯の事ではない、石灰鹽類などを多く含むでゐる硬水に對して、その含量の微少なる水を云ふのである）石鹼を使つても直ぐ湯かパツト湧き立つ（沫立の意？）位稍溫味のある水で洗ふのである、水道の水なら湯に湧かしてから洗ふ方がよい。

白地は其の儘洗つて差支ないが染色の木綿物は布片の極一小部分を（ザットの間違？）曹達液と不酸の灰汁（酸性の灰汁と云ふものはあるまいが）で別々に洗ひ一旦干てから本洗ひを爲すのだが、無暗に洗ふと色が恰で褪せて終つて折角の著物も臺無しになるから注意せねばならぬ。毛織物は微溫湯で洗ふに限る。汚れた著物は石鹼に「アムモニア」を少量混せて水

一斗につき石鹸三十匁の割合で抓み洗つても好いが滌ぐ時は微溫湯で十分滌いで輕く搾るのがよい、又色物は影干をして白地の上から「アイロン」か火熨斗で皺を伸ばすのである。

鶏卵の貯藏法

鶏卵の貯藏法は隨分種々の方法もあるらしいが、次の如きも亦確かに一法であらうと思ふ。

鶏卵を腐敗させぬやうに保存するには、夏期は濕氣のない風通しのよい場所におき、冬期は凍らぬ樣にするのはいふまでもないが、常に卵の尖つた端を下に向けておく事が肝要である、この位置を保たせるには、適宜の大きさの板に直徑一寸位の穴を開けて差し込んでおけばよい、第二の方法としては、「アラビヤゴム」を殼に塗り、濕氣のない炭屑の中に埋めておくのであるが、最も長期の保存に適し二箇月間保存し得たといふ記錄を有する第三の方法は、適宜の容器に石灰約二斗一合鹽二ポンド、酒石「クリーム」半ポンドの割合を混合して水を加へるのだが、水の加へ方は、卵が表面に浮き上る位の密度迄にして、この中に卵を入れて置くのである。

家庭瑣事

世の中には細々した日常の事に就て色々賢こい事を知つてゐる人があるものだ、左の如きお話の主もその一人と見える。

○瓶のコルクが堅くてはまらぬ時には小刀などで削らないで板と板の間に挾んで堅く壓しながら轉がすと自由の大きさになりますそしてコルクがふくれない中に急いで栓をすればよいのです、またコルクの栓を瓶の庭に押込んだ時には瓶を横にして細い針金か丈夫な糸を中央から曲げて其つのゝ字形になつた方を瓶の中に入れそれでコルクを挾む樣にしてそろそろと引出すとゝれるものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○毛織物が著づれのため光つて古く見えるときは棒で輕く叩いて埃を落しそれにアンモニア數滴をたらした水を含ました海綿でこすり最後に毛のこわいブラシデ强くこすると新しくなります。

○それからガラスの破片が疊に散つた場合には毛織物をしめして拭けばよくなります、また雜巾でも差支はありません、なほガラスや陶器類が壞れたときには鋼製の匙を火にかけて其中にミャウバンを入れて溶かしこれでつぎますと乾いた後は水で洗つてももうとれる事はありません。

○机掛に果實の汁をこぼしたときには直ぐ鹽か澱粉をふりかけて置くと二三時間後にはすつかり吸取つしまひます。

○小さいとげが指にさゝつたときにはペン先を刺へ向けて下向きに當て强くおすとペンサキが開きますからそれで刺を挾むのです。

○土をいじる前には乾いた洗濯シャボンで爪のさきをこすつて置くとシャボンが爪のさきにつまつて土の入るのを防ぐと同時に手を洗ふ場合には石鹼がとけるため爪のさきが汚れる事がありません。

○革帶鞄などの皮革製品は其の儘にしておくと割れますから時々馬油牛油などの獸脂を塗るとさういふ事もなく非常に永く保ちます。

○赤十字産院

先月九日開院式を擧行されし日本赤十字産院は總建坪七五〇七五坪内四四八五坪は産院にして四十五牀を有し二〇九二五坪は寄宿舍、工事費は二十二萬九千五百餘圓を要したるものなるが、外來待合室、診察室、病室、産婦室、婦人科室、産室、小兒初湯室手術室、試驗室、會議室、醫院事務室及び看護婦寄宿舍と敎室の二階建日本館あり、本産院新設の精神

は世界に冠たる乳兒死亡率を有する日本の兒童の保護にあるを以て成るべく多數の產婦を收容するに努め例へば一人の產婦にして一月も二月も在院せば其の延人員は少なくなる故、分娩後肥立のよきものは成るべく速に交替して尠くとも年に幾千人の產婦を取扱ふべき方針なりと、因に同院長は本社病院長佐藤恒丸博士、產科醫長は同治療主幹橋爪賢次郎博士、小兒科醫長は同難波輝秀ドクトルなり。

○少年赤十字

日本赤十字社に於て豫て計畫中なりし少年赤十字に關する實施方針は左の如くなりと云ふ。

歐洲戰亂以來赤十字社と平和事業との關係に付きて著しく一般の注意を喚起するに至れるは平和條約第二十五條に赤十字事業に關する規定を設きたること及赤十字社聯盟の創設せられたる等に徵して明かなり而して各國赤十字社は此の趨勢に順應して種々なる平和事業を創始施行し少年赤十字の組織は其の最も重きを置ける事項の一たり。

一千九百二十年(大正九年)三月ヂユネーヴに於て第一回赤十字社聯盟總會を開催したる際「各國赤十字事業の爲其の國の少年を養成すべし」との決議あり本年三月開催せる第二回赤十字社聯盟總會に於ても亦少年赤十字を以て議題中の一要目と爲して其の促進を期せり。

本社に於ても新に計劃せる平和事業中兒童保護を第一著として其の實施を試みんとするは既に屢々言明せる所なれば各地方に於ても此の意を諒とし他の兒童保護事業と共に少年赤十字組織に着手せられんことを希望す。

抑々少年赤十字の目的は兒童は第二の國民たるものなれば學校時代に於て博愛の思想即ち他人に對する助力並に相互擁護の精神を涵養し且自他の衞生上に留意せしめて健康の增進を圖らんとするに在り。此の目的を達する爲各地方に於て少年赤十字を組織するは概ね左記の要項に準據せられたし。

一、少年赤十字は尋常小學校五、六學年の兒童及高等小學校の兒童を以て之を組織すること但し便宜尋常四學年以下に及ぶも妨げなし。

二、少年赤十字の事業概ね左の如し。

(一)赤十字事業の談話(二)衞生の談話(三)災害、疾病の慰藉・手工品の寄贈等(四)內外國兒童の通信の交換(五)講話會、印刷物配布、活動寫眞會、運動會、展覽會、慈善市等を開催し又赤十字其の他の事業施設を見學せしむること。

三、兒童より醵金を徵收せざること。

四、團體には便宜團長、副團長、幹事、協議員等の職員を置くことあるべく其の職員は總て名譽職にすること。

前記職員の外兒童をして選擧せしむる兒童職員を置くこと。

五、職員及團體員には圖式の徽章を交付すること。

敘上の事項は其の概目を示したるに止まり取捨增減は之を支部長の

所見に一任す。

本事業の施行は學校と密接の關係を有するに由り支部長は第一學務當局者及學校職員學校衛生主事學校醫等の諒解を得て其の援助に待たざるべからず而して本社は文部當局者の本件に對する意見を求めたるに孰れも贊意を表し且有益なる助言を與へられたるは最も欣幸とする所なり。

本件の實施は成るべく速に各地方に普及せんことを望むと雖も各支部の事情同一ならざれば必ずしも卒に施行するを要せず時機の熟するを待ちて着手するを妨げず又一支部内に於ても資力と事情とに應じ小區域に止むるは其の便宜に一任す。

少年團其の他兒童の團體成立する地方に於ては貢獻を遂くる爲現在の團體と協議し適當なる方法を以て本社の目的を達するを得ば適宜の處置を爲すも亦可なり。

團體設備尚早しと認むる地方に於ては其の準備として先づ前文に概舉せる事業の一部より着手し效果如何に依りて漸次歩武を進むるを要す。

内外國兒童間に於ける通信の交換は互助共濟の精神を涵養し且作文圖畫寫眞等に依りて坐ながら未知の地理、歷史、風俗等に接觸し知識の啓發に資するを以て主旨と爲すものにして其の交換は先づ國内の兒童間に試み漸次其の他に及ぼすを可とすべく本邦に於ては新事業に屬するを以て漸次試行を期すべきなり

徽章は兒童をして團結心を鞏固にして自己の事業を愛重し互に努力せんことを默約するの記號なれば光榮の念を以て佩用せしむることに留意し之を交付するには相當の儀式を用ふるを可とすべし。

兒童をして團體の事務に與らしむるは自治の精神を訓練し指揮者を尊敬するの習慣を馴致するに益あるを信す。

本事業の發達を期するには學校職員の援助を必要とすること前に言明せし如くなれば是等職員の爲に講習會を開催して赤十字事業、衛生施設等に關する見聞を弘め又救急法、看護法等の訓練を爲し兒童指導の資料を供給するは極めて緊要の事たるべし要するに少年赤十字の事業は創始に屬するを以て特に各支部の深厚なる同情と周到なる注意とを以て實施せられ遂に其の目的を完成するに至らんことを期す。

○常設林間學校

都市に於ける兒童の體格が田園地方の學童に比して著しく劣り、腺病質のもの多きため大阪市御津小學校にては數年來の同校兒童の身體檢查成績に鑑みて、同校常設林間學校を市より程遠からぬ適當の地に設立し、四學年以上の兒童をして第一回は一週間第二回は十日間と云ふ比率を以て、各學年兒童をして四季を通じ同常設林間學校にて學ばしむる計畫を立て法規上學制上より研究をつゞけると共に、區會議員及び學務委員の贊成を得つゝありしが、その候補地も蘆屋に定まり、此の經費數萬圓も區内の有志によつて醵出せらるゝ事と決定せし由なれば、近く

日本最初の常設林間學校が出現することゝなるべく、その成績如何に依つて今後是等の設備が各校に施さる事となるならん。

○學校看護婦

歐米諸國にては疾に學校看護婦を設けて兒童の養護體育の向上を助けてゐる處尠からず、我邦に於ても漸く玆に注目し始めたるものと見え、文部省學校衞生課にては右の學校看護婦執務方法等に關する研究の必要を認め日本赤十字社と協議する所ありしに、同社にても進みて之に贊同の意を表せる結果近く同社より派遣の看護婦をして適宜の學校に就きて實務に當らしめ以て實地の講究に著手することゝなれり。右は本邦に於ける最初の試みにして、その效果の大に見るべきものあらん、尙ほ本事業は將來繼續して實行せんとの計畫にして又全國各地方に向ても適宜施設の方法を講ずるよう大にこれを奬勵するものなり。

○結染豫防宣傳標語

日本結核豫防協會に於ては今回結核豫防宣傳の標語を募集することに決し左の如く規定發表せり。

一、標語は漢字假名取交ぜ二十字以内とす。

二、一人にて數語列記提出するも妨げなし。

三、應募締切期は大正十一年八月末日とす。

四、審査は本會に於て優等と認めたるものに對し左記賞金を贈與す。

一等百圓一人　二等五十圓一人　三等二十五圓二人

○生活改善食事研究

生活改善同盟會にては住宅、服裝、社交、禮儀の研究調査は大體終了したるを以て、次には食事改善に關する調査を開始することゝなり、更めて市川第一高等女學校長、稻垣農學博士、横手醫學博士等十二名の調査委員を囑託し去る十六日午後五時よりお茶ノ水博物館内同會事務所に於て第一回委員會を開き左記各項目に就て研究を重ねることゝしたりと。

一、市價の廉にして滋養價値に富む食品を選むこと

二、玄米、半搗米、雜穀並に外米の使用を奬勵すること
三、米の代用となる薯類其他の食用品を奬勵すること
四、パン食を奬勵すること
五、初物走りの類を使用せざること
六、食品の成分を知り其の配合を合理的にすること
七、料理は外觀よりも寧ろ滋養と味とに重きを置くこと
八、酒の肴本位の料理法に偏せず兒童及老人にも適する料理法を奬勵すること
九、食物の品數分量は必要以上に上らざるようにすること
一〇、食品の種類によりては可成廻り取り式に改むること
一一、馳走の殘物を持ち歸る風を廢めること
一二、汽車辨當を改良して廢棄物の出來ぬやうにすること
一三、食器類を整理して可成簡單にすること
一四、共同的炊事飯の配給出來合惣菜の利用を奬勵すること
一五、食品の種類によりては直接手先にて取扱はざること
一六、古新聞の包紙を用ひざること
一七、食事は食卓の上に於てすること
一八、食卓の幅を四尺以上とし相對して談話するも不潔とならざるようにすること

○女子水泳講習會

文部省にては昨年の夏季以來全國府縣小學教員其他中學卒業以上の男子のために水泳講習會を開催して良好の成績を擧げたるが同部主任本田存氏等は最近に於ける運動體育の趨勢に鑑み獨り之れを男子のみに限定せず女子の爲めにも解放するの必要を認め愈本年より文部省主催の下に我國としては最初の女子水泳講習會を開設する運びとなり會場も房州保田と決し會期は七月下旬より三週間に亙つて實科講習を高女師範の生徒と小學女教員に施こすことに確定したるが教師も女子を充つる意嚮なるも從來女子と運動との關係が極めて薄かりし事情から適任者を選ぶに困難を感じ居る模樣なるが目下熱心詮考中なるを以て近く其選任を見るに至るべしと。

會報

○本會例會

來六月十七日午後一時より麴町なる三輪田高等女學校に於て本會例會を開き「保健と食物」と云ふ題にて醫學博士二木謙三先生の講話ある筈なり。

○入會者

事務所申込み

京橋區山下町十七　通常會員　鬼宮ふく子

○轉居

赤坂區より神戸市山手通三丁目一へ　飯田和香子

横濱市より牛込區南榎町五七へ　久保田ふく子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私立大日本婦人衛生會役員氏名

總裁 東伏見宮妃周子殿下
會長 侯爵夫人 鍋島榮子
副會長 子爵夫人 濱尾作子

（いろは順）

理事 鳩山春子
同 岡田德子
同 山口貞子
同 三浦敬子
評議員 入澤常子
同 服部繁子
同 子爵母堂 仁禮壽賀子
同 緒方悅子
同 小川孝子
同 片山鐵子
同 丹波貞子
同 男爵夫人 南部限子
同 松平芳子
同 男爵夫人 古市幸子
同 相磯まさ子
同 岸澄子
同 宮木樂子
同 守屋千代子

同 長谷川仲子
同 高木鏶子
同 天野多喜子
同 羽田三緒子
同 原光子
同 土肥多越子
同 岡山とし子
同 男爵母堂 加藤鈴子
同 吉岡彌生子
同 高橋孝子
同 中濱芳子
同 子爵母堂 松井正子
同 近藤憲子
同 男爵母堂 青山孝子
同 菊池采子
同 三宅藤子
同 瀨川さわ子

大正十一年六月二十二日印刷
大正十一年六月二十五日發行

東京市本郷區駒込千駄木町五十八番地
編輯者兼發行者 莊司秋次郎

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷者 柴山則常

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷所 合資會社 杏林舍

東京市本郷區駒込千駄木町五十番地
發行所 私立大日本婦人衛生會事務所
（振替東京一〇六〇〇番）

賣捌所
東京市本郷區龍岡町 吐鳳堂
同市銀座三丁目 東海堂
同市京橋區鎗屋町 其明堂
同市同區龍岡町 南江堂支店
同市芝區愛宕町 明々館
京都市寺町二條南入 若林茂一郎
東京京橋元數寄屋町 北隆館
同市神田區表神保町 東京堂
同市本郷區本富士町 盛春堂
名古屋市榮町六丁目 丸善書店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第三百六十五號　大正十一年六月二十五日發行

陣痛催進劑
ピツイトリン

ピツイトリンの産婦人科領域に於ける聲價は眞に隆々たり。之盖、本品は子宮に作用して之を收縮せしめ、而も他の子宮緊縮藥に於けるが如く、其性質强直性ならず、〇・五乃至一・〇ccの注射により、能く速に陣痛强盛を來して、産期を短縮せしむる效果、顯著確實なればなり。ピツイトリンは又强心、止血、利尿の作用ありて種々なる内科的疾患に試みられつゝあり。

【文獻集あり御申越次第進呈す】

滅菌硝球　一cc入
三管壹箱

姙娠惡阻特效藥
ユゴール

ユゴールはドクトル飯田左三先生の發見せられたる惡阻の治療藥にして、多數實驗家の臨牀成績は姙娠惡阻に對し、顯著確實の奏效を示したるのみならず一般諸種の嘔吐患者に對しても亦用ふるに足る藥劑なるを明にせり、而してユゴールは些の副作用なく、之れが應用は何等の不安、何等の顧慮をも要せずと稱せらる。

【文獻御申越次第進呈】

◆實品種類◆
注射用ユゴール　一cc硝球十管入
内用ユゴール　膠球（〇・三五）五十球入　同百球入

本社　東京室町
發賣元　三共株式會社
出張所　大阪淡路町　臺北府後街

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN